



小森 陽一

石原 千秋

対談 漱石を開く

石原千秋氏(早稲田大学教授)、小森陽一氏(東京大学名誉教授)、日本文学研究者として、常に漱石研究をリードしてきたお二人の対談。

動画配信期間

2022.12.6 ~
2023.3.31

新宿区公式YouTubeチャンネル
「新宿区チャンネル」で **無料配信**



[https://youtu.be/
FwDYuRWYShg](https://youtu.be/FwDYuRWYShg)
(左二次元コード参照)

新宿は、夏目漱石が生まれ、代表作を執筆し、亡くなるまでの9年間を暮したまちです。その終焉の地・新宿区早稲田南町に建つ漱石山房記念館は、令和4年9月に開館5周年を迎えました。5周年を記念して開催したイベントの様相を期間限定で配信します。

開催・収録日 / 2022年9月23日
会場 / 牛込筆筒区民ホール

新宿区立漱石山房記念館 開館5周年記念 漱石を語る午後



文学座による朗読



夏目漱石・オムニバス朗読劇

—「吾輩は猫である」「坊っちゃん」「草枕」「三四郎」「こころ」より—

新宿区信濃町にアトリエを構え、創設85周年を迎えた日本を代表する劇団「文学座」による朗読劇。ピアノ伴奏と共に迫力のある朗読を披露しています。

新宿区立漱石山房記念館 開館5周年記念

漱石を語る午後 プログラム

◆ 主催者挨拶



新宿区長
吉住 健一

◆ 文学座による朗読

「夏目漱石・オムニバス朗読劇」

—「吾輩は猫である」「坊っちゃん」「草枕」「三四郎」「こころ」より—



瀬戸口 郁
(構成・出演)



西川 信廣
(構成・演出)

◆ 対談「漱石を開く」



石原千秋氏(写真右)・小森陽一氏(写真左)の対談。1993年、お二人はともに雑誌「漱石研究」の編集を担当し、2005年の第18号まで発行されました。また、共著として『漱石激読』『なぜ漱石は終わらないのか』があり、多様な切り口で漱石文学を読み解いています。今回の対談では、「坊っちゃん」「三四郎」「道草」などを引き合いに、作品が執筆された当時の時代背景を解説するとともに、漱石の人物像に関するお二人の見解を掘り下げました。

出演



郡山 冬果



細貝 光司



岡本 温子



上田 亨
(音楽)

司会 岩田 理加子(朗読の会・ふみのしおり)

問合せ

新宿区文化観光産業部文化観光課文化資源係
〒160-8484 新宿区歌舞伎町1-5-1 第1分庁舎6階
☎ 03-5273-4126 FAX 03-3209-1500

